第 13 章　環境保全啓発事業・環境教育

1　環境保全啓発事業

(1)　環境月間

環境省では、環境基本法に定められた 6 月 5 日の「環境の日」を中心とする 1 か月間を環境月間と定め、広く国民一般に環境活動への積極的な参加を普及啓発しており、本市においても、環境月間の趣旨を市民・事業所等に啓発するため、各種の事業を実施しています。

なお、令和６年度の行事は、**表 13－1(1)**のとおりです。

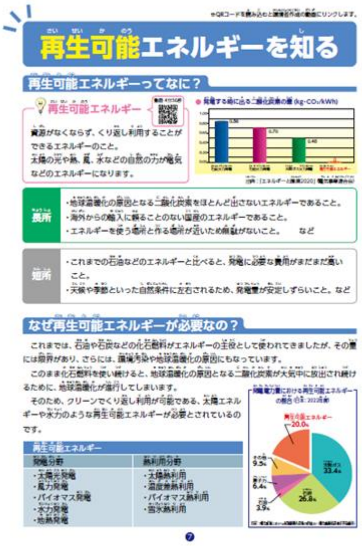
表 13－1(1)　環境月間行事内容

（令和6年度）

事　業　名	内　　　容	場　所　等
その他の広報活動	街頭啓発等により重要性を呼びかけました。	

(2)　再生可能エネルギー啓発事業

本市は、再生可能エネルギーについて理解を深めてもらうため、小中学生を対象とした副読本「目指そう！脱炭素社会　学ぼう再生可能エネルギー」の作成や出前講座「再生可能エネルギーって何？」の開催など、次世代を担う子どもたちをはじめ、市民への啓発事業を実施しています。



令和6年度作成副読本

２　環境教育・普及啓発の推進

(1)　環境アドバイザー派遣事業

本市は、環境に配慮したまちづくりを推進するため、自然とのふれあいや野外観察、健康な暮らし、緑化、省エネルギーや省資源の方法など、市民が自発的な環境保全活動に取組むにあたり参考となる知識を提供する「いわき市環境アドバイザー」を派遣しています。

表 13－2(1)－１　環境アドバイザー派遣実績

年度	受講者数（人）	派遣回数（回）	派遣人数（人）
令和 2 年度	1,085	38	50
令和 3 年度	805	26	33
令和 4 年度	1,614	51	59
令和 5 年度	1,649	51	60
令和 6 年度	1,511	53	61

～環境アドバイザーの派遣申請等について～

市民の皆様が市内において、参加者 10 人以上の環境に関する講演会や講習会、自然観察会を主催する場合、講師として「いわき市環境アドバイザー」を派遣しています。派遣を希望される方は、開催予定日の 30 日前までに環境企画課までお申込みください。

また、「いわき市環境アドバイザー」として登録していただける方についても随時募集しておりますので、登録を希望される方は環境企画課までお問合せください。

【お申込みにあたって】

▼　講師の謝礼・交通費は市が負担しますが、会場・資料など開催に必要な準備は主催者にてご用意ください。

▼　講演内容等の具体的な事項は、主催者とアドバイザーで協議していただきます。

▼　政治、宗教、営利を目的とした講演会等への派遣はいたしません。

表 13－2(1)－2　環境アドバイザー派遣内容一覧

（令和7年3月末現在）

◇分類別の主な講演内容◇

分類	講演内容		講師
自然環境	自然環境	幼児期の自然体験活動、自然観察会の企画・実施、フィールドワーク全般（植物・野鳥など）	草野　秀雄
		「自然環境と人間とのかかわり」を基礎とした環境教育及びその支援	佐藤　烈
		自然観察会の支援・指導、木工クラフトの支援・指導	鈴木　信一
		木工クラフト、ペーパークラフト及び自然観察会の支援・指導	鈴木　晴美
		自然観察を通じた環境・生物多様性の学習、里山の自然と人のかかわりについて	津崎　順
		自然観察会指導、ネイチャーゲーム指導	古川　眞智子
		自然観察会指導・森林ボランティア	鈴木　正明
		ビオトープの創出・再生・保全の企画・実施、その必要性の講演	佐川　憲一
		幼稚園や小学校での総合学習・環境学習の支援及び指導	古口　英子
		「里山と生活のかかわり」等を基本に体験学習や自然学習の企画・実施・支援	箱崎　和雄
		幼稚園や小学校での総合学習・環境学習の支援、自然観察会を通じた自然の不思議発見のお手伝い	吉田　良子
		河川環境と生活の関わりなどの環境教育及びその支援	吉田　真弓
		幼児期の自然体験活動、小中学校での総合学習及び環境学習の支援・指導、その他自然観察会の企画・運営、森や里山と人との関わり、いわき市の林業の現状について、伐木体験、いわき市中山間地域との交流	馬場口　勝彦
		いわきの山の紹介・案内、登山の知識・実技の普及啓発、野草・樹木等の自然観察指導	秋葉　信夫
		小中学校における総合学習及び環境学習の支援・指導、自然観察会の企画・実施	中野　憲二
		小学校における総合学習及び環境学習の支援・指導、農業体験（稲作）の支援・指導	斉藤　健
		小学校における総合学習及び環境学習の支援・指導、その他自然観察会の支援・実施	鈴木　陽子
		小中学校における環境学習の支援・指導、幼児期の自然体験活動の支援・指導	酒井　千春
	水質調査	河川の水質調査	橋本　孝一
		水生生物を主とした河川の水質調査の支援	吉田　真弓
		水質調査支援	平川　英人
	自然エネルギー	自然エネルギー学習支援	
	放射線	実験提示型出前授業による防災放射線環境学習支援	石川　哲夫
	大気環境	星空観察及び天体観測の解説・指導、星空観察会の開催、光害の普及啓発活動	桂　伸夫
生活環境	ごみ・リサイクル	家庭で出来る生ごみの減量と有効利用について、生ごみ堆肥化方法について	武田　憲子
			先崎　久美子
	ごみ・リサイクル	廃棄物と3R	鈴木　一
	河川環境	河川環境と生活とのかかわりについて	橋本　孝一
	SDGs	脱炭素、カーボンニュートラル問題とSDGs17ゴールの関連性	大内　政雄
都市環境	省エネルギー	省エネ出前授業、地球に優しい快適エコライフ！、スマートライフ、節電・節水と省エネ診断事例、環境経営システムと環境カウンセリング	鈴木　一
広域環境	地球温暖化	地球温暖化問題と省エネルギー、環境と資源・エネルギー	鈴木　一
	地球温暖化・エネルギー	地球気候変動に伴う地球温暖化と日本のエネルギー問題、地球温暖化問題と再生可能エネルギー利用	石川　哲夫
		地球温暖化問題、再生可能エネルギー利用、省エネルギーの方法	中西　恒雄

5

(2)　出前講座

本市は、環境問題や公害防止に関して必要な知識の普及・啓発を図るため、市役所出前講座などに講師として市職員を派遣しています。

なお、令和６年度の実施状況は、表 13－2(2)のとおりです。

表 13－2(2)　出前講座等への講師派遣実績

（令和6年度）

事　　業　　名	目　　　的	開 催 場 所	参加者 合計人数
考えてください　生物多様性	生物多様性を守るために私たちにできることや、身近な外来生物・希少生物などについて学習する。	いわき総合高校	18 人
川の生き物観察会	川に生息する生き物を採取・観察し、その種類や数を確認することで、川の水環境の状態を知ってもらい、環境保全の重要性を伝えました。	四時川 （川前公民館裏）	14 人
考えよう地球温暖化！ 目指せ脱炭素社会！	地球規模の深刻な問題である地球温暖化の影響や脱炭素社会実現の必要性などを学習する。	いわき中央公民館 平第一サロン いわき支援学校 中央台南中学校	175 人

(3)　せせらぎスクール

福島県では、毎年、身近な水辺環境を見直し、水質保全への関心を一層高めるために、「水生生物による水質調査」の参加団体を『せせらぎスクール』として募集しています。

なお、本事業の概要は、次のとおりです。

①　対　　象　　　　小・中学生、高校生、市民団体等

②　実施時期　　　　４月～10 月

③　活動内容

川底から採取した水生生物について、定められている 29 種類の指標生物に照らし、その種類と数により水質を判定します。

④　教材の提供

参加団体には、福島県から調査に必要となる教材が提供されます。

(4)　こどもエコクラブ

公益財団法人日本環境協会では、幼児（３歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブの支援事業を実施しており、本市は、地域事務局・コーディネーターとして市内のクラブを支援しています。

なお、本事業の概要は、次のとおりです。

①　対　　象　　　　幼児、小・中学生、高校生

②　実施時期　　　　通年

③　クラブの設立方法

- １人から登録可能
- こどもエコクラブ全国事務局への登録手続き
- サポーター（活動を補助する大人（連絡係））が１人以上

④　教材の提供

活動のヒントとなる情報などが記載されたニュースレターや、指導者向けプログラム等の支援ツールが提供されます。

(5)　星空観察会（スターウォッチング）

いわき天文同好会では、星空の観察という身近な方法を通して大気環境保全についての意識高揚を図ることを目的に、毎年 2 回（夏期及び冬期）実施しています（いわき市共催）。

令和６年度の実施状況は、表 13－2(3)のとおりです。

表 13－2(3)　星空観察会実施状況

場　所	参加者数
いわき市立高久公民館	69 人（夏:19 人　冬:50 人）

(6)　野生生物生息生育状況調査（生き物調査）

本市は、生物多様性に関する理解や自然環境保全意識の向上を図るとともに、市内の野生生物の生息・生育状況を把握し、各種環境施策へ活用することを目的に、平成 28 年度より、市民参加型の生き物調査を実施しています。

また、日ごろ自然に触れる機会の少ない大人や小学生を対象として、自然観察に必要な知識を学んでもらい、実際の生き物調査に活かしてもらうため、自然探訪会を開催しています。

なお、令和６年度の実施状況は、表 13－2(4)－１～2のとおりです。

表 13－2(4)－１　生き物調査実施状況

調　査　期	調査対象種（生態系被害防止外来種）
6月1日～ 11 月 30 日	12 種類（オオキンケイギク、アレチウリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、セイタカアワダチソウ、アカボシゴマダラ、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ウシガエル、アカミミガメ（ミドリガメ）、アライグマ、ハクビシン）

表 13－2(4)－2　自然探訪会実施状況

場　所	参 加 者 数
いわき公園（春）	18 人
波立海岸（夏）	34 人

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

令和6年度いわき市生き物調査結果報告書（全体概要版）

1　調査概要

○調 査 期 間：令和６年６月１日～令和６年 11 月 30 日
○調 査 場 所：いわき市内全域
○調査実施者：いわき市内の小学生、市民、事業者等
○調査対象外来種：オオキンケイギク、アレチウリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、セイタカアワダチソウ、アカボシゴマダラ、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ウシガエル、アカミミガメ（ミドリガメ）、アライグマ、ハクビシン

セイタカアワダチソウ

2　調査結果　※赤字：外来生物法の特定外来生物

【市内全域における外来種の報告件数上位５種】

	外来種	報告件数
第１位	セイタカアワダチソウ	439
第２位	アカボシゴマダラ	246
第３位	オオキンケイギク	234
第４位	アレチウリ	225
第５位	ナルトサワギク	210

アカボシゴマダラ　アレチウリ　オオキンケイギク　ナルトサワギク

【市内各地区においてよく見られた外来種※】

	平地区	小名浜地区	勿来地区	常磐地区	内郷地区
第１位	セイタカアワダチソウ	セイタカアワダチソウ	セイタカアワダチソウ	セイタカアワダチソウ	セイタカアワダチソウ
第２位	アカボシゴマダラ	アカボシゴマダラ	アメリカザリガニ	アカボシゴマダラ	オオキンケイギク
第３位	アレチウリ	オオキンケイギク	アカボシゴマダラ	ナルトサワギク アレチウリ	アカボシゴマダラ
第４位	オオキンケイギク	ナルトサワギク	ナルトサワギク アレチウリ	オオキンケイギク	アレチウリ
第５位	アメリカザリガニ	アレチウリ	オオキンケイギク ウシガエル	アメリカザリガニ	ナルトサワギク アメリカザリガニ

	四倉地区	遠野地区	小川地区	好間地区	三和地区・川前地区
第１位	セイタカアワダチソウ アメリカザリガニ	セイタカアワダチソウ アカミミガメ	セイタカアワダチソウ アレチウリ	ウシガエル	セイタカアワダチソウ
第２位	アカミミガメ ウシガエル		アメリカザリガニ オオキンケイギク		アレチウリ
第３位					オオキンケイギク オオハンゴウソウ

※今回の調査で発見された種類です。

いわきの自然環境や生物多様性を将来にわたって守っていくため、「外来種被害予防３原則（入れない、捨てない、拡げない）」にご協力ください！！

【発行】いわき市生活環境部環境企画課
℡（0246）22-7441

令和6年度いわき市生き物調査結果報告書（全体概要版）

波立海岸（夏）の自然探訪会の様子

(7)　ゼロカーボン人づくり公民連携事業（公募提案事業）

本市は、環境に関する市民の意識醸成を図ることを目的とした環境学習等の充実を図るとともに、環境保全活動等の実践者を支援するため、その手法について公募し、選定された応募者が、公募テーマに沿った事業を実施しています。

なお、令和６年度の実施状況は、表13－2(5)のとおりです。

① 公 募 条 件：営利を目的としない、提案内容を実施可能な団体（法人格不問）

② 公募テーマ

- 気候変動及びカーボンニュートラルに関すること
- 再生可能エネルギーに関すること
- 省エネルギーに関すること
- 生物多様性に関すること

表 13－2(5)　ゼロカーボン人づくり公民連携事業（公募提案事業）実施状況

採 択 団 体	業　務　概　要	業　務　内　容
NPO 法人 いわき環境研究室	児童向け脱炭素リテラシー学習におけるステージレベルの評価	① 市内小学校2校、 地区の子供会を通じた学習支援等 ② ゼロカーボン教育モデル事業に係る対象校での授業１回

<table>
<tr><th>採 択 団 体</th><th>業　務　概　要</th><th>業　務　内　容</th></tr>
<tr><td>株式会社
リビングソーラー</td><td>いわき市脱炭素社会実現市民活動の促進～未来につなぐ3KARA アクションの実践～</td><td>① カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」を利用したカーボンニュートラルの学習や「うちエコ診断サービス」を利用して、省エネ、省 CO2 対策を学ぶ
② ゼロカーボン教育モデル事業に係る対象校での授業 1 回
 </td></tr>
</table>

(8)　ゼロカーボン教育モデル事業

市では、令和5年度より、2050年脱炭素社会実現に向けた人づくりを推進するため、次世代を担う市内の小中学生を対象に「ゼロカーボン教育モデル事業」を実施しています。

この新たな取組みは、本事業の趣旨にご賛同いただいた小中学校をモデル校として、学校・行政・民間等が連携しながら環境教育プログラムを実施するものです。

なお、令和６年度の実施状況は、**表13－2(6)**のとおりです。

① **対象校及び参加者**：内郷第三中学校　１年生９人（一部の授業は全学年27人）

② **環境教育プログラムの内容**

表 13－2(6)　ゼロカーボン人づくり公民連携事業（公募提案事業）実施状況

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">令和6年度の実施内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">全体説明会</td><td>題目</td><td>地球温暖化は待ってくれない　など</td></tr>
<tr><td>日時</td><td>5/23㈭ 13:20～15:00</td></tr>
<tr><td>講師</td><td>市職員</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>① 概要説明（地球温暖化は待ってくれない、気温上昇を 1.5℃に抑えるために、デコ活とは？）
② ワークショップ（地球温暖化対策はなぜ難しいのか？）
 </td></tr>
</table>

	令和6年度の実施内容	
第1回ゼロカーボン授業	題目	気候変動への適応「暑さ対策」を考える
	日時	6/20㈭ 13:20～15:00
	講師	NPO 法人いわき環境研究室
	内容	① 地球温暖化の緩和と適応 ② 校内の暑さ指数測定
第2回ゼロカーボン授業	題目	自分の二酸化炭素排出量を見える化してみよう など
	日時	8/29㈭ 13:20～15:00
	講師	株式会社リビングソーラー
	内容	① 地球温暖化に関する知識習得とワークショップ ② 家庭でできる温暖化対策 ③ 太陽光発電システムについて
第3回ゼロカーボン授業	題目	電気の使い方・作り方から考える地球温暖化対策
	日時	9/12㈭ 13:20～15:00
	講師	福島工業高等専門学校　電気電子システム工学科
	内容	① 講義（暮らしの変化と電球、再エネの研究内容） ② 実習（ソーラーカー作成） ③ グループワーク（自分の1日の電気の使い方から省エネを考える）

		令和6年度の実施内容
施設見学会	日時	9/3 ㈫ 8:15～15:30
	見学先	①　共栄バイオマスいわき南発電所
	内容	食品残渣からのバイオマス発電、発電設備の見学
	見学先	②　　株式会社タジマモーターコーポレーション
	内容	電動バスの地域交通への活用水素製造設備
	見学先	③　　トラスト企画株式会社
	内容	バイオプラスチック
	見学先	④　日産自動車いわき工場
	内容	電気自動車の仕組み
発表	日時	10/19 ㈯ 8:40～9:00
	内容	文化祭（楠木祭（くすのきさい））の学年発表として実施。他学年、保護者に向けて学習成果について、動画（約 10 分）を流し、1 人ずつ感想・意見を述べた。